

流通BMS普及説明会資料

# 流通BMS導入のポイントとは

～株式会社ハローズ様導入事例をもとに～

---

2009年11月27日

株式会社 富士通中部システムズ



FUJITSU

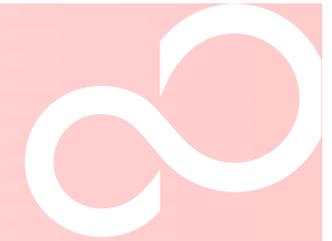
THE POSSIBILITIES ARE INFINITE



# 目次

|                             |       |    |
|-----------------------------|-------|----|
| 1. 流通BMS導入の3つのポイント          | ..... | 2  |
| 2. 導入目的と効果の明確化              | ..... | 4  |
| 2-1. 導入目的の明確化               | ..... | 5  |
| 2-2. 導入のメリット                | ..... | 6  |
| 3. 導入の容易性                   | ..... | 7  |
| 3-1. 導入説明会の実施               | ..... | 8  |
| 3-2. 課題の早期発見と解決             | ..... | 10 |
| 3-3. 入念なテスト計画と進捗管理          | ..... | 11 |
| 4. 安心のシステムサポート              | ..... | 12 |
| 4-1. 中国・四国地区のサポート拠点         | ..... | 13 |
| 5. 統合EDIソリューションChainFlowご紹介 | ..... | 14 |

# 1. 流通BMS導入の3つのポイント



▽2009/秋

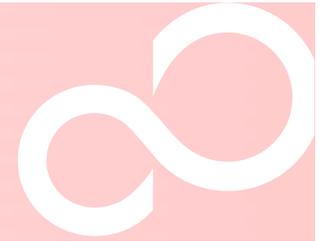
流通ビジネスメッセージ標準 (V1.3)

## 小売業態／商材の流通BMS対応検討状況

|                     | 2005年度                   | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度以降 |
|---------------------|--------------------------|--------|--------|--------|----------|
|                     | ▲流通ビジネスメッセージ標準 (V1.0) 公開 |        |        |        |          |
| スーパー業界<br>グロサリー業界   | ～標準化検討                   |        | 実証     | 普及     |          |
| 生鮮業界                | 標準化検討                    |        | 実証     | 普及     |          |
| アパレル業界              |                          | 標準化検討  | 実証     | 普及     |          |
| 百貨店業界<br>(アパレル/婦人靴) |                          | 標準化検討  |        | 実証     | 普及       |
| チェーンドラッグ<br>業界      |                          | 標準化検討  |        | 実証     | 普及       |
| ⋮                   |                          |        |        |        |          |



# 1. 流通BMS導入の3つのポイント



経営者様

導入目的と効果の明確化

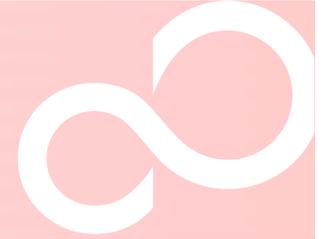
利用者様

導入の容易性

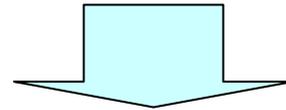
システム部門様

安心のシステムサポート

## 2. 導入目的と効果の明確化



どのような効果を期待し、流通BMSの導入  
を検討するのか



①流通BMSを理解する

流通BMSの機能や導入メリットを理解する

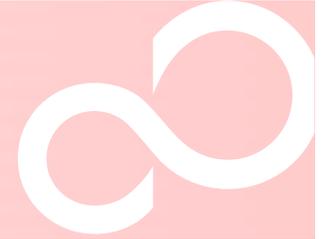
②流通BMSの対象範囲と自社適合検討

自社への対象範囲を検討する

③導入効果を検討する

自社適用範囲での効果算定を行なう

## 2-1. 導入目的の明確化



ハローズ様では



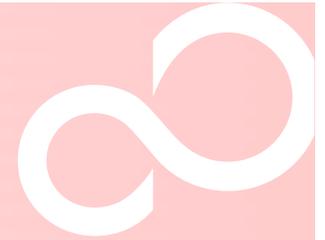
**営業実績データの早期確定**

**経理業務の省力化**

**J C A 通信の終焉対応**

に導入目的を集約

## 2-2. 導入のメリット



### 本部

- ☑ 経理締め の 早期化 による 営業実績 の 早期提供化
- ☑ 検品精度 の 向上 により 仕入単品実績 の 精度向上

### 物流

- ☑ 取引先 から の 出荷データ の 連携 により 検品精度 ・ 作業 の 向上

### 経理

- ☑ 経理請求照合業務 の 軽減
- ☑ 取引先 での 手書き伝票入力 による 伝票入力業務 の 軽減
- ☑ 支払明細書 の オンライン化 により 支払明細書 の 送付作業 の 廃止

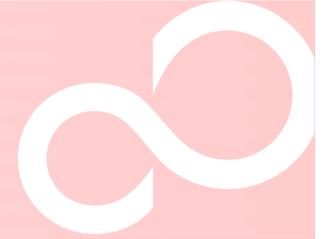
### システム

- ☑ EDI の ASP サービス 導入 ・ 委託 により 、 運用処理業務 の 負担軽減
- ☑ JCA 通信機器 の 老朽化 や 低速な公衆回線 による 通信ネック の 解消

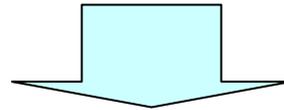
### 取引先様

- ☑ 高速 ・ 廉価なインターネット の 利用 による 伝送時間短縮
- ☑ 請求書 の 送付廃止
- ☑ 手書き仕入伝票 の 早期仕入計上 ( 売掛計上 ) により 、 請求計上早期化
- ☑ 流通BMS 導入 により 小売業別 の システム投資負担軽減

# 3. 導入の容易性



新しい技術への不安感を払拭し  
導入作業の容易性を確保



## ①導入説明会の実施

導入に向け社内・外へのきめ細かな説明会の実施

## ②課題の早期発見と解決

ヘルプデスク・メーリングリストによる課題発見と解決

## ③入念なテスト計画と進捗管理

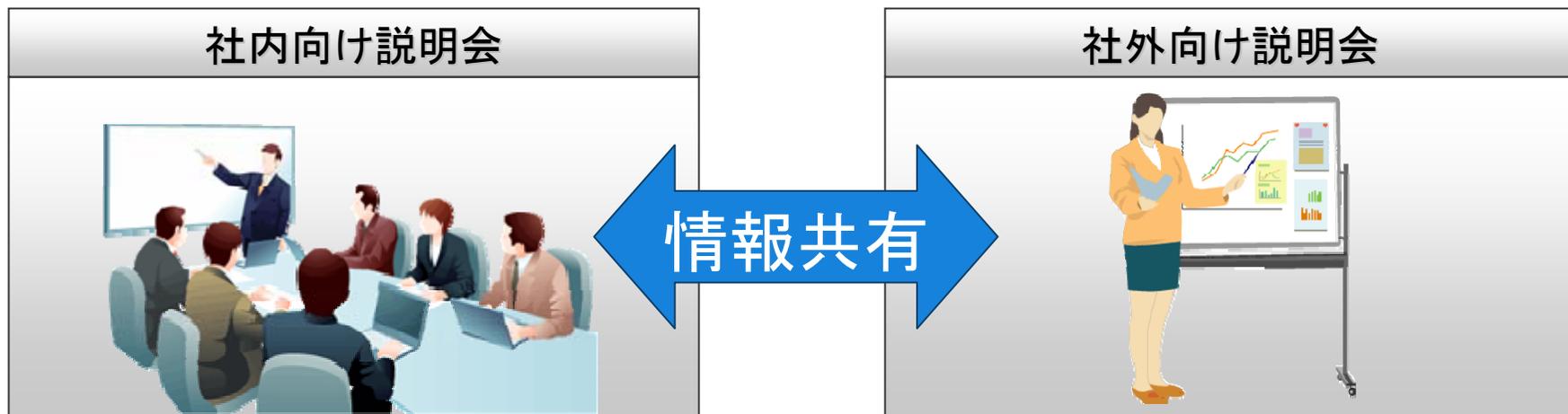
段階的な接続・運用テスト計画の立案と実施

# 3-1. 導入説明会の実施

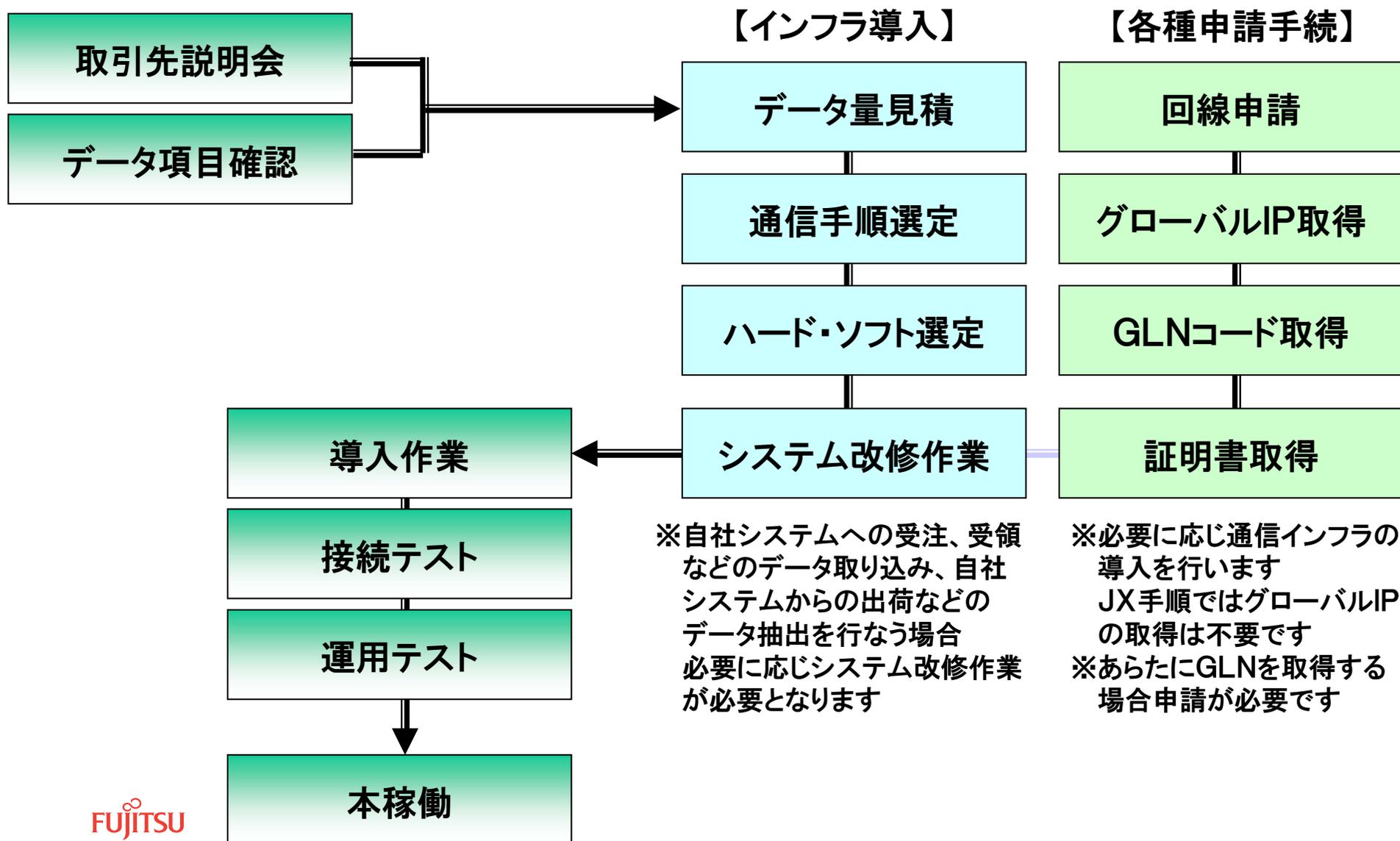


## 社内・外に対する導入説明会の実施

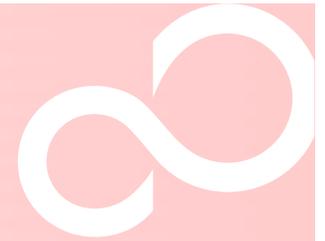
- ・早期段階で説明会を実施することで、導入に向け社内・外への理解を深める
- ・『流通BMSとは何か?』から、新業務フロー、テスト実施まできめ細かく説明
- ・取引先様への具体的対応方法の説明  
→ ITベンダと連携したツールの紹介や導入相談の実施



# 【参考】流通BMS導入の流れをわかりやすく説明

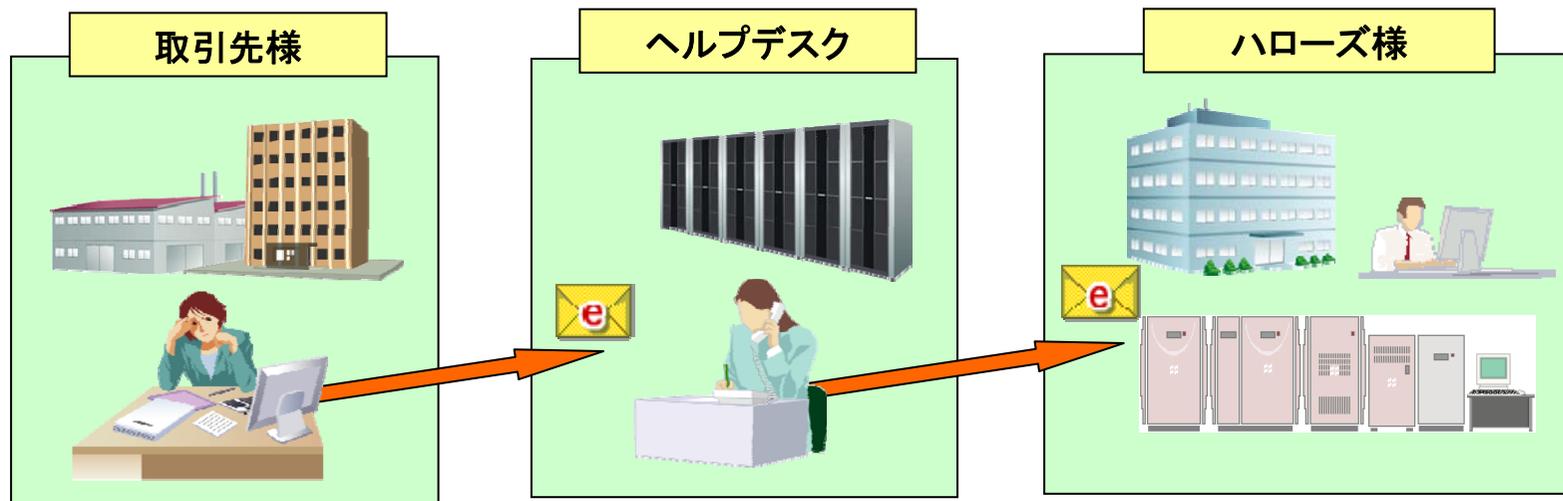


## 3-2. 課題の早期発見と解決



利用者の課題を早期発見し解決するために

- ・説明会実施後のフォローとして、ヘルプデスクを設けQA対応の実施  
→ 取引先様の疑問や課題を早期解決
- ・メーリングリストを作成し、ハローズ様と富士通が問い合わせ内容を共有し課題、問題対応を連携して行なう
- ・取引先様向けに操作手引き書、テスト計画書など各種ドキュメントをご用意



# 3-3.入念なテスト計画と進捗管理

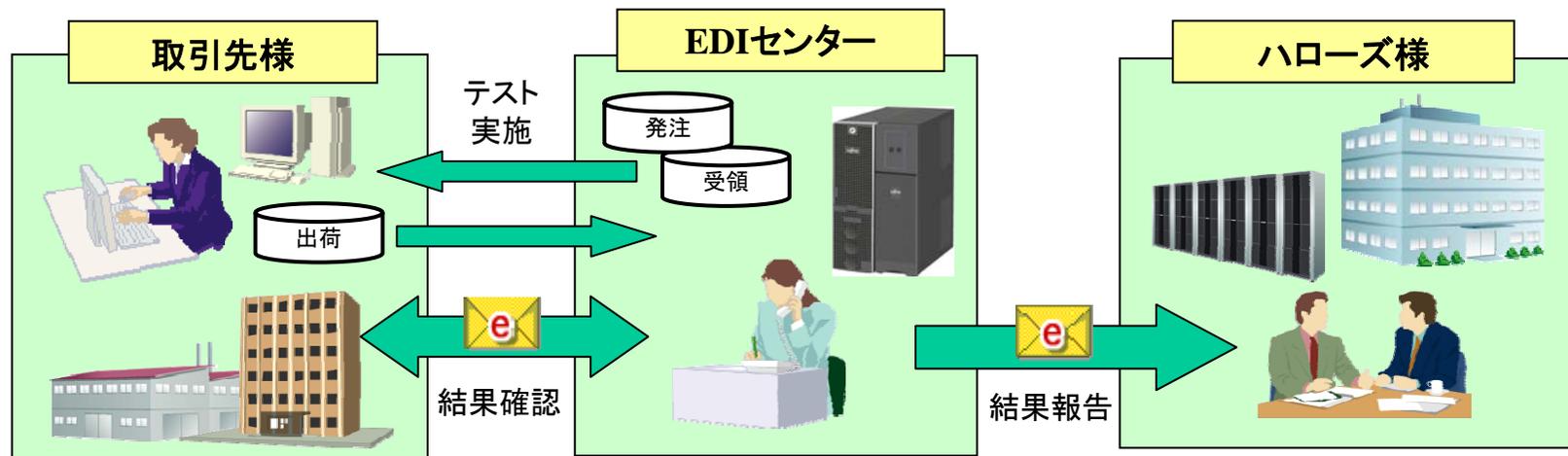


入念なテストと進捗管理による確実な導入作業を実施

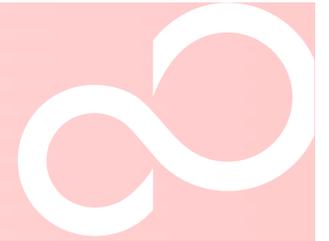
- ・本稼働に向け 理解しやすい ステップに分けたテストの推進



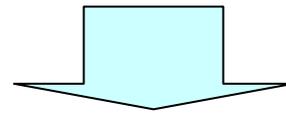
- ・テスト結果をフィードバック、テスト状況の共有による進捗確認



## 4.安心のシステムサポート



**開発元と現地SEが連携  
各地区できめ細かなサポート**



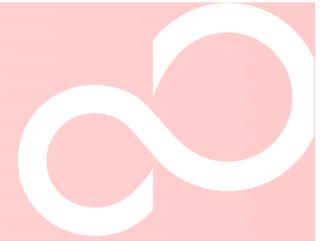
**①現地SE会社によるサポート**

富士通中国システムズ、四国システムズが現地サポート

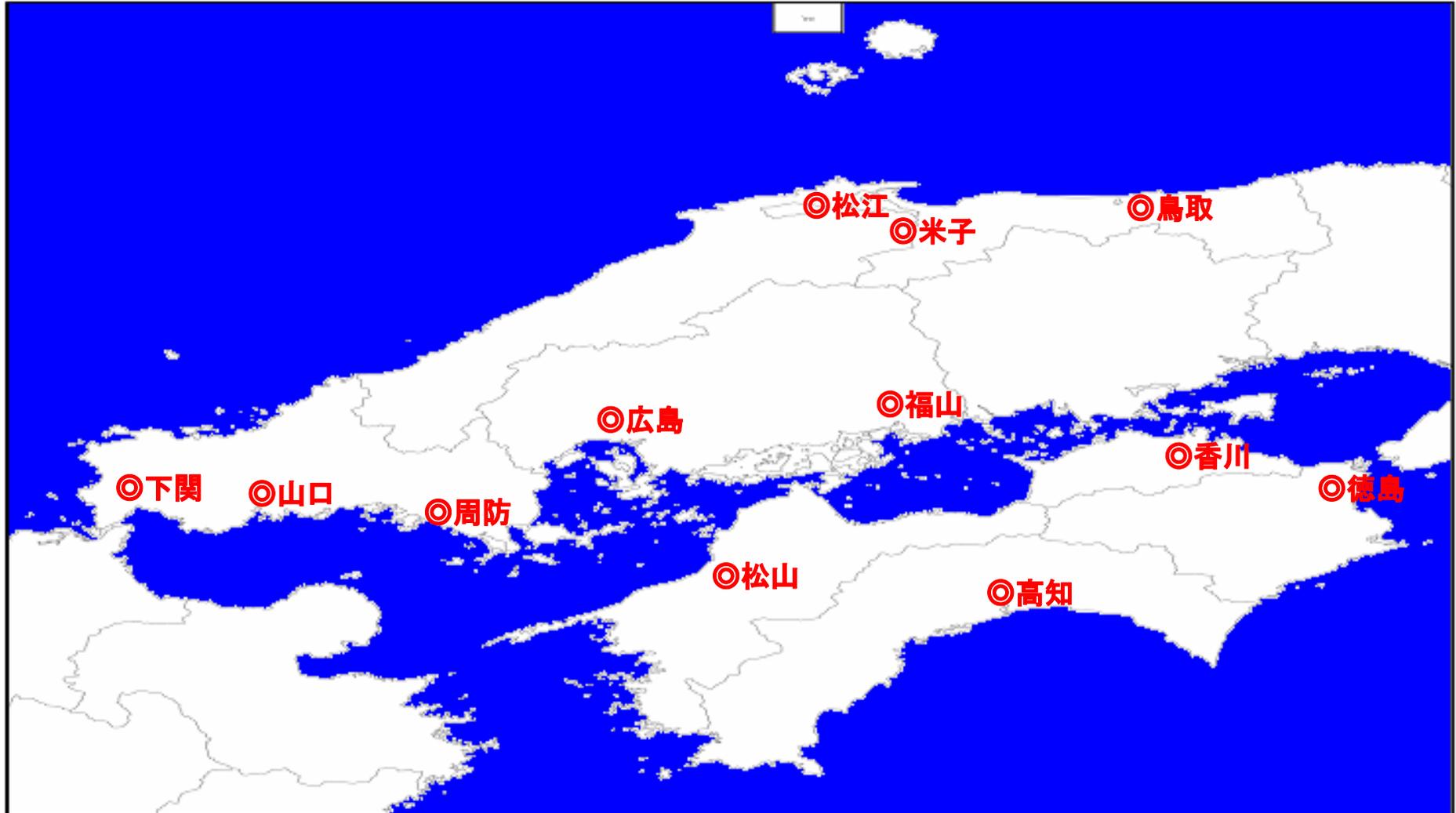
**②中四国地区に幅広い拠点**

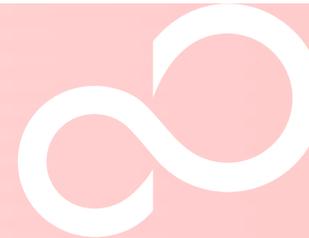
中四国地区に幅広く拠点配置しサポート

# 4-1.中国・四国地区のサポート拠点



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を使用したものである。（承認番号 平19総使、第02号）





# 流通BMS対応 統合EDIソリューション 「ChainFlow」 ご紹介

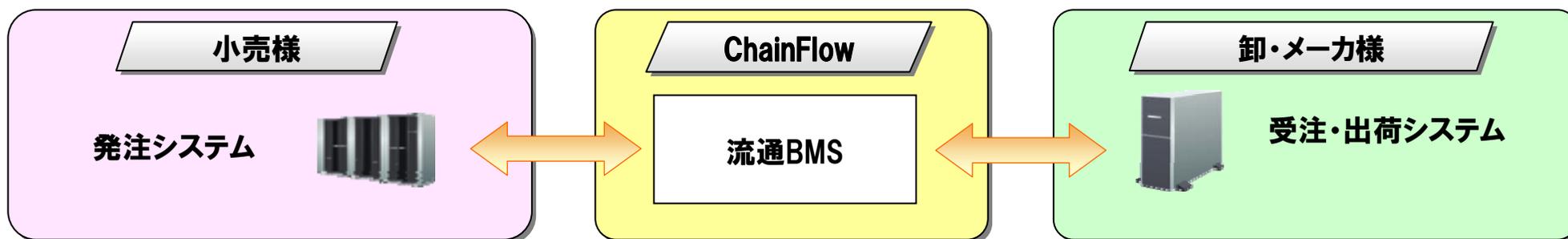
# ChainFlow流通BMS システム概要



✦ ChainFlow には、流通BMSとWeb-EDIの2つのパターンがあります。

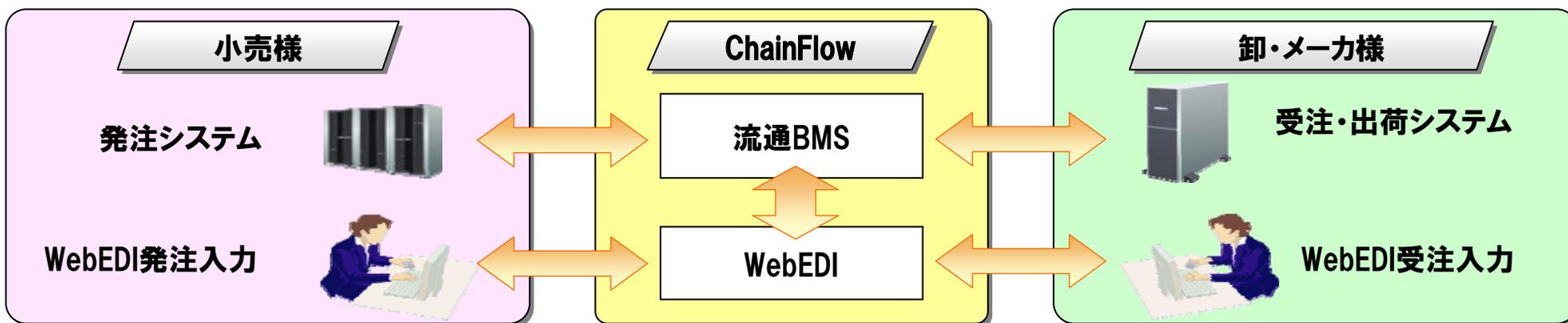
Aパターン)流通BMSのみ使用の場合

従来のJCAの置換目的等で、流通BMSによるEDIのみをChainFlowでシステム化



Bパターン)受注EDIトータルシステムの場合

流通BMSに加え、小口取引先からの発注をWebEDIで受ける等、受注業務全体をデータ化したい場合は、流通BMSおよびWebEDIの全体をChainFlowでシステム化



FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

# ChainFlow流通BMS サーバ版のポイント



## Point 1 定評ある通信ソフトウェアを使用し、流通BMS通信環境を構築

- ✦ 流通BMSの3つの通信プロトコル、AS2/eXML/JX手順の全てを選択可能。
- ✦ プログラムを作らなくても、画面設定方式でデータレイアウト変換の設定が可能。
- ✦ 流通BMS V1.2以降で拡張された項目にも随時対応。
- ✦ サーバ機能版のほかに、JX手順の取引先側クライアントとして利用できるクライアント機能版を用意。自社だけでなく、取引先も含めたトータルな流通BMS環境構築が可能。

## Point 2 現場の運用を省力化する便利機能をご用意

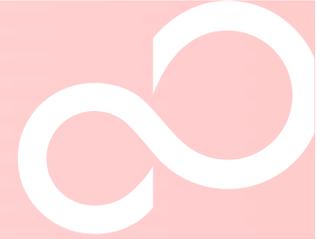
- ✦ 取引先の設定を容易にする簡易設定画面や、全体状況をチェックし易い状況照会画面を用意。
- ✦ JX手順利用時の再送用データ自動セット等、流通BMSの規約に、現場で必要となりがちな機能を付加。
- ✦ 自社でインフラを用意する必要の無いASPや、短期間での流通BMS対応を可能にするスイッチングセンター等、システム運用負荷を軽減する導入方式も選択可能。

## Point 3 拡張性の高いシステムで、EDI化率をさらに向上

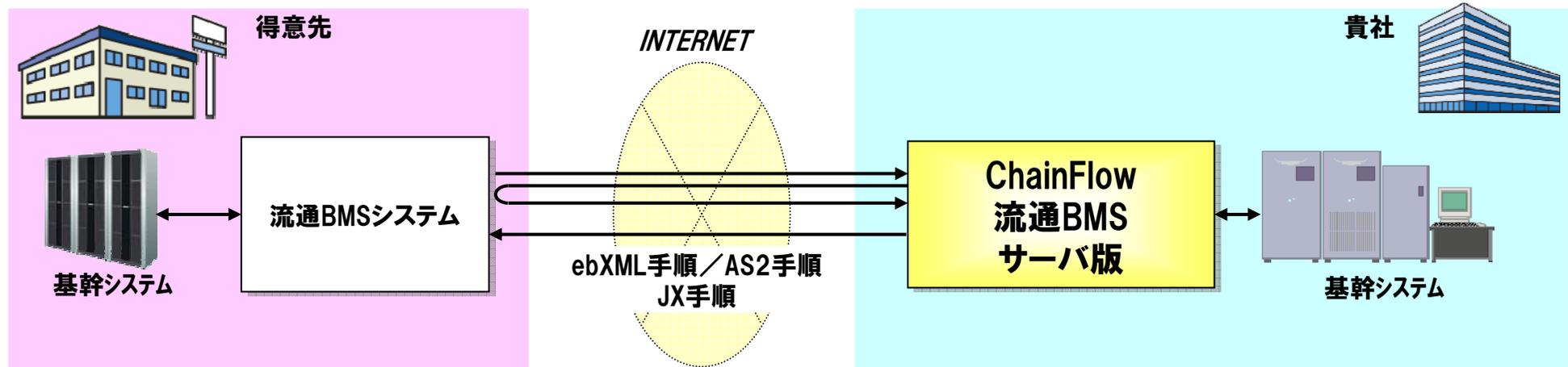
- ✦ パッケージ内で、JCAや全銀といったレガシー手順の追加と一括管理が可能。
- ✦ ChainFlow-WebEDIと流通BMS受発注データの一本化が可能。



# 【ご参考】 ChainFlow流通BMS サーバ版



## サーバ⇔サーバ型システム



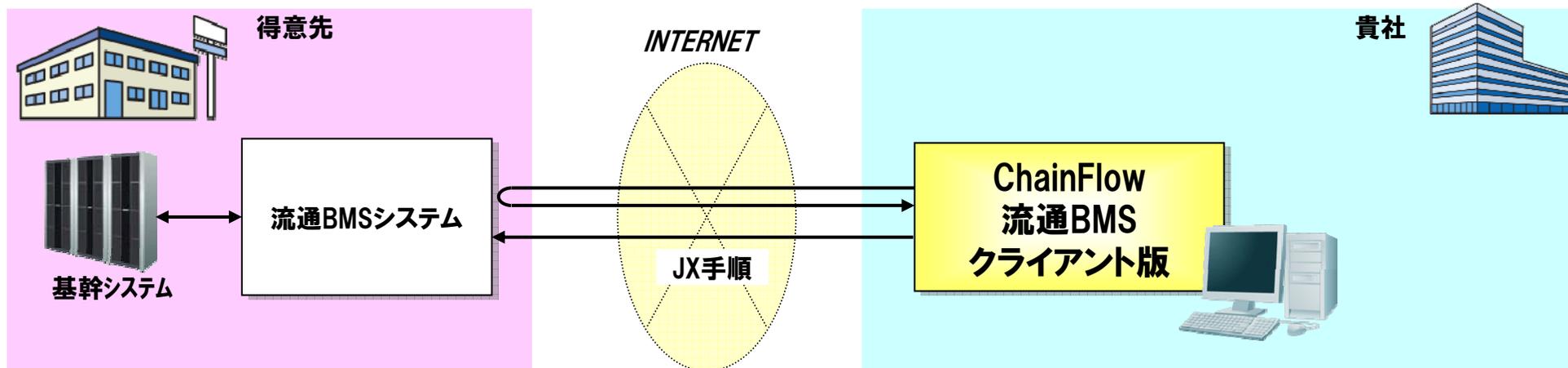
## 流通BMS通信パッケージ サーバ版

- ✓ 得意先サーバとの通信に使用するebXML, EDIINT AS2、JX手順(SOAP-RPC)の3手順全てに対応。
- ✓ データフォーマットの変換機能や、スケジューリング機能を内蔵。
- ✓ 取引先マスタの管理やメンテナンス、集配信状況照会、接続結果のロギング等の運用管理ツールを装備。

# 【ご参考】 ChainFlow流通BMS クライアント版



## サーバ⇄クライアント型システム



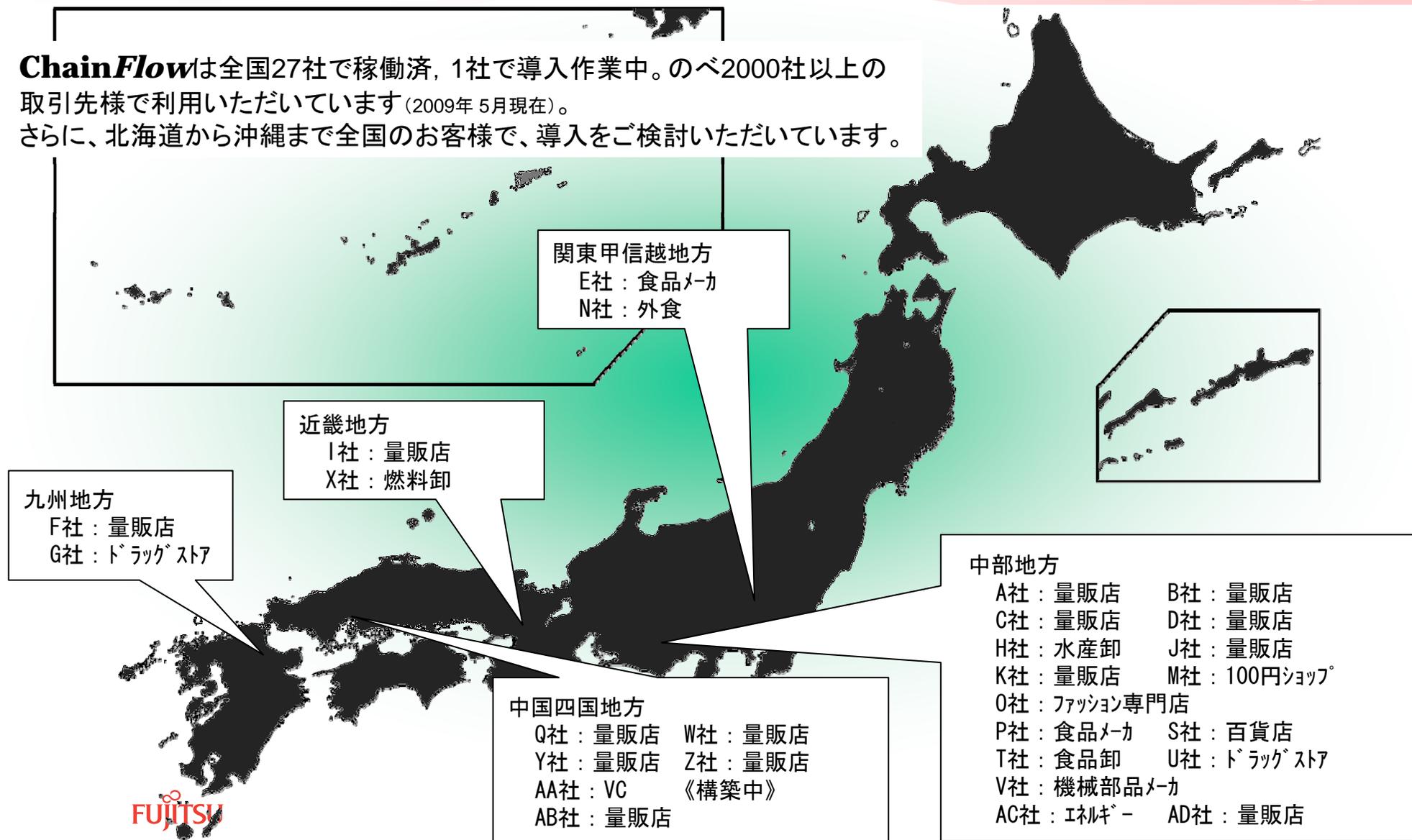
## 流通BMS通信パッケージ クライアント版

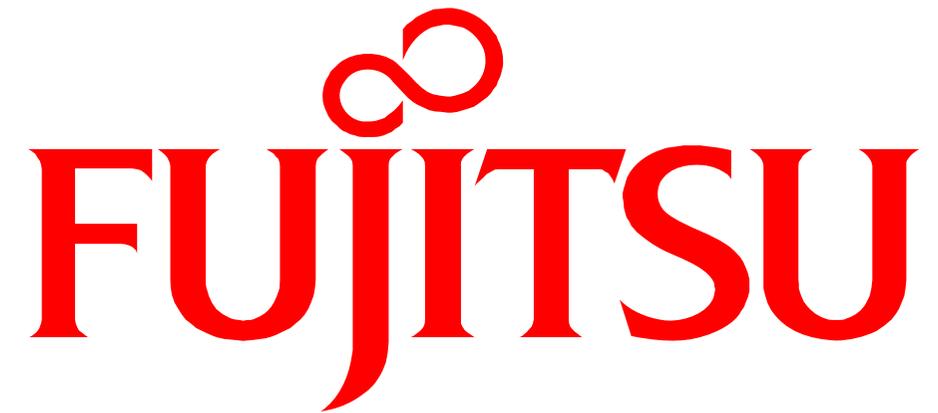
- ✓ 得意先サーバへの接続に対応するJX手順(SOAP-RPC)クライアント機能をサポート。  
手軽なクライアント構成(DMZや固定IPアドレス不要)で、取引先との流通BMS環境構築が簡単。
- ✓ データフォーマットの変換機能や、スケジューリング機能を内蔵。

# ChainFlow 稼働実績



ChainFlowは全国27社で稼働済、1社で導入作業中。のべ2000社以上の取引先様で利用いただいています(2009年5月現在)。さらに、北海道から沖縄まで全国のお客様で、導入をご検討いただいています。





**FUJITSU**

**THE POSSIBILITIES ARE INFINITE**